

京都橋大学「学まち連携大学」促進事業

【山科・醍醐地域で「育ちあう、響きあう」地域連携プログラム】実績報告書

1)4年間（2016-2019年度）の取り組み内容

本学の地域連携型教育プログラムは「地域で学び、地域で鍛えられる」を理念としており、今回本学が取り組んだ学まち連携大学促進事業【山科・醍醐地域で「育ちあう、響きあう」地域連携プログラム】は、以下の3つの基幹課題と7つのプログラムを設定し、各学部学科の特性を生かし、それぞれの課題に対応する取組を展開してきました。

基幹課題1：暮らしの安心・安全、健康・福祉、育ちあい

プログラム①：防災・安心・安全

プログラム②：高齢者・地域住民の健康増進

プログラム③：子育て支援、心のケア

基幹課題2：地域（経済）振興、まちづくり

プログラム④：地域（経済）振興・商店街振興

プログラム⑤：地域環境の再評価と経済文化の創出

基幹課題3：地域文化・歴史の継承、観光振興

プログラム⑥：地域文化・歴史の継承

プログラム⑦：地域観光振興

○取組事例



文学部
二条城来訪者調査



国際英語学部
英語版山科ガイドブック制作



発達教育学部
音楽のアウトリーチ活動



現代ビジネス学部
商品開発ゼミ



看護学部
お助け隊



健康科学部
いきいき健康教室



学まち AWARD 開催



学まち座談会開催



「地域連携型教育プログラム」実績集発刊

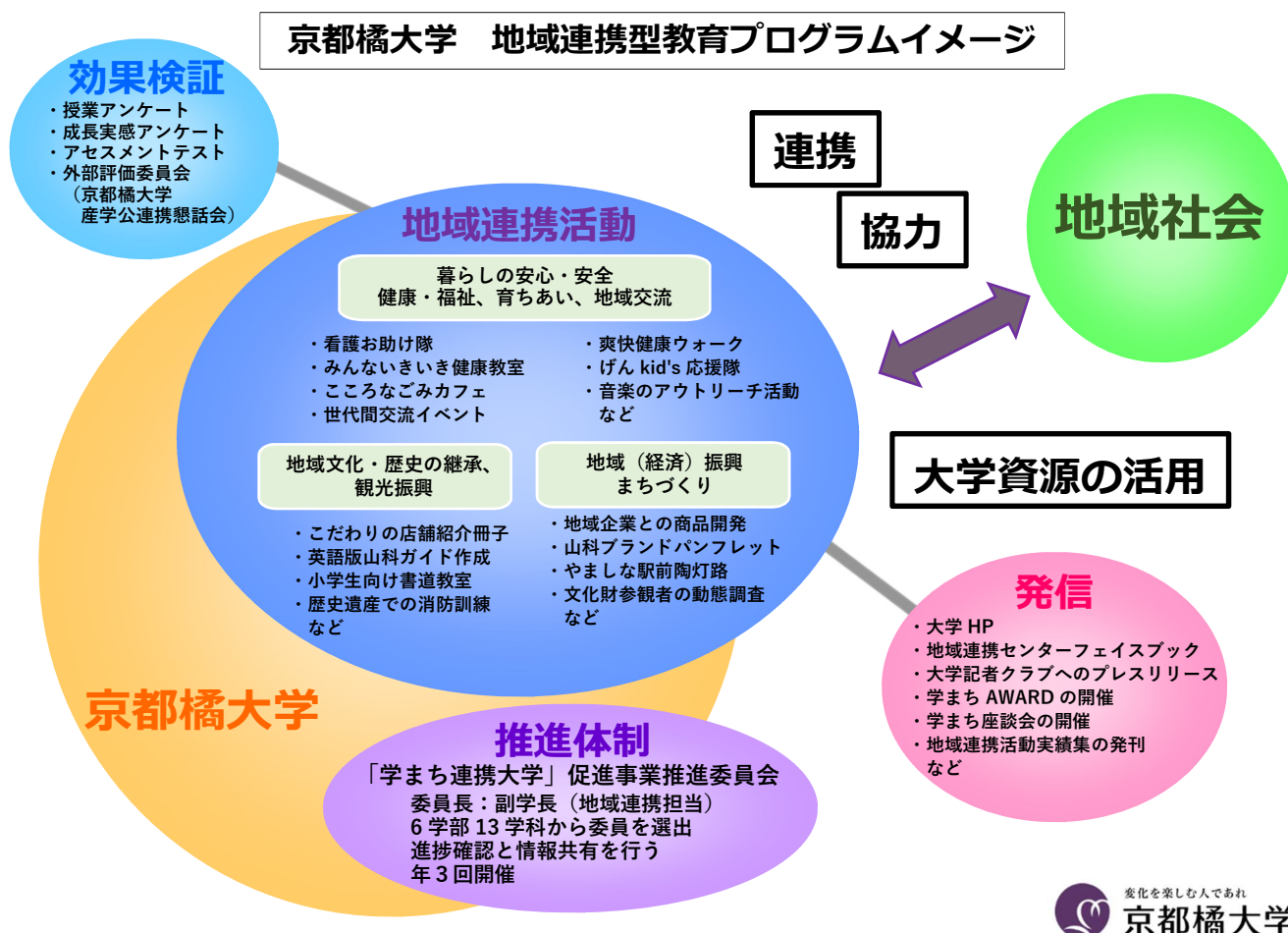
2) 達成目標（定量的目標）に対する4年間の実績

前述の7つのプログラムに参加する学生数について達成目標を定めました。最終年度には目標を大幅に上回る2,733名(のべ)の学生が地域連携教育プログラムに参加し、124.2%を達成しました。

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | 1. 左記①～⑦を含む全学的な地域連携教育プログラムへの参加学生数 | 1.の達成率 |
|--------|----------|---------------|------------|--------------|------------------|------------|--------|-----------------------------------|--------|
| | 防災・安心・安全 | 高齢者・地域住民の健康増進 | 子育て支援・心のケア | 地域経済振興・商店街振興 | 地域環境の再評価と経済文化の創出 | 地域文化・歴史の継承 | 地域観光振興 | | |
| 目標人数 | 120 | 240 | 160 | 100 | 90 | 80 | 120 | 2,200 | |
| 申請時人数 | 60 | 200 | 130 | 50 | 60 | 20 | 70 | 1,500 | |
| 2016年度 | 250 | 177 | 229 | 45 | 20 | 102 | 91 | 1,600 | 72.7% |
| 2017年度 | 162 | 309 | 90 | 79 | 130 | 199 | 77 | 2,430 | 110.5% |
| 2018年度 | 144 | 316 | 511 | 101 | 95 | 211 | 126 | 2,712 | 123.3% |
| 2019年度 | 170 | 255 | 330 | 101 | 90 | 373 | 127 | 2,733 | 124.2% |

3) 学内の実施体制

学長を長とする「産学公地域連携推進機構」が統括し、全学的に推進しています。これらの活動をスムーズに推進するための体制として、「学まち連携大学促進事業推進委員会」を組織しました。全学6学部13学科から選出された委員からなるこの会議を年3回開催し、各プログラムの進捗報告、情報共有を行ってきました。



4) 地域連携の取組に係る大学内での今後の方向性

本事業の採択を受け多数の取組を展開する中で、各学科の特色を活かした地域連携活動のノウハウを蓄積することができ、また、地域の行政機関、経済団体、文化施設、事業所、住民組織などさまざまな方々とのつながりを構築することができました。そして改めて学びのフィールドとして地域が持つ力を再確認しました。

今後も引き続き、地域との関係づくりを進め、地域ニーズと学生の学びとのマッチングを増やすなど、全学をあげて積極的に地域連携活動を推進します。